

## Contents

- ・【巻頭エッセー】 変わるものと変わらないもの  
… 渡辺俊哉 ●表紙
- ・【研究発表会】 Musicolor - 音と色の祭典 - ●2～3
- ・ Question box②① … 樋口真規子 ●4
- ・ ピープル・ビーぶる④①…宮部真砂子 ●5
- ・ 風景の中で⑦ … 図書館長 井上郷子  
資料の部屋⑦ … 岡本さやか ●6
- ・【私のおすすめ】 … 武内理恵 北原義嗣 ●7
- ・『竹内道敬文庫の世界』公開  
Information ●8

# Parlando

ぱるらんど 「語りかけるように歌う」という意味の楽想記号です

No.309

## 【巻頭エッセー】 変わるものと変わらないもの

渡辺 俊哉

初めまして。渡辺俊哉です。私の専門は作曲なので、作曲以外の学生の皆さんと接する機会は、主にハーモニーやソルフェージュの授業になります。

皆さんと図書館の関わりは、どのようなものでしょうか？おそらく大学院の皆さんは、論文を書くための資料を探すために頻りに利用していると思いますが、学部生の皆さんは、もしかすると、あまり利用していない人もいるかもしれません。

学生時代の私はというと、かなり頻りに図書館を利用していました。当時、『レコード芸術』（音楽之友社）という雑誌で現代の音楽が特集されている月があって、20世紀の重要な作曲家と、その作曲家のお薦めの曲、及びCDが紹介されていました。私は作曲の学生だったということもあり、今生きている作曲家が書いている曲にとっても強い関心があったので、紹介されていたCDを貪るように聴き、知らない作曲家に関しては調べたりしていました。また、様々な国の音楽なども聴いたりしていました。

しかし、こうしたことは今の学生の皆さんにはピンとこないかもしれません。なぜなら、今では簡単にYoutubeで音源を聴くことができますし、簡単な知識であればわざわざ図書館に行かなくても、ネットですぐに調べることができるからです。それでは何のために図書館はあるのでしょうか？

図書館は、あの場所にずっと変わらずにあるだけではありません。内装や外装はリニューアルして分かりやすいですが、利用できる中身も時代とともに変わってきています。例えば

図書館のオーディオ室には、非常に優れた性能のスピーカーがあり、先生同伴であればそのスピーカーを利用することができます。このような素晴らしい環境が整えられている図書館は、そうそうあるものではありません。

また、図書館でアカウントを作成すると、ベルリン・フィルの有料配信サービス「デジタル・コンサート・ホール」を無料で見ることができます。一流のオーケストラの演奏会を無料で、しかもライブで視聴することができるのです。こうした体験を数多く積み重ねることも、きっと皆さんの刺激になるはずです。

一方で、昔から引き継いでいる図書館の価値も勿論、些かも減ってはいません。図書館にはネットに掲載されていないような古い資料もたくさんありますし、様々な資料に触れることによって、多角的なものの見方を知り、自らの考えを深めていくこともできます。図書館は、じっくり物事と向き合い、時間をかけて思索を深めるのに最適な場所といえるでしょう。

時代の変化とともに様々なコンテンツも増え、つつい手頃なものだけに頼ってしまいがちですが、そのコンテンツにはそれぞれ特長があります。そしてその中身も少しずつ変わってきています。こうした変化に敏感になり、それぞれの特長を見極め上手に活用することによって、これからより豊かな学生生活を送り、深みのある音楽家（人間）になることを願っています。

●わたなべ としや 本学准教授（作曲・音楽理論）



# Musicolor

## - 音と色の祭典 -

2020年度 国立音楽大学  
音楽情報専修、音楽学コース、音楽情報・社会コース  
専門ゼミ・II 研究発表会

音楽と色には一体どのような関係があるのだろうか。

楽器や音符には、色が付いているものがある。音を聞くと色を感じる人がいる。

ドレミに色を付けることの普遍性や歴史はどのようなものだろうか。

私たちは「音と色」をテーマに、さまざまな切り口からその関係に迫りたい。

### 波としての音と光

耳で感じる「音」と目で感じる「色」には、波の性質を持っているという共通点がある。音や光は、周波数(波長)によってどんな高さの音が鳴るか、何色に見えるか決まる。色には色相環があるが、音も1オクターブの12音や五度圏を円のように表現することができる。両者が波であることを普段意識することは少ないが、音と色の関係を調査するにあたって、そのことを再認識する必要があるだろう。

### 楽器や楽譜への反映

音楽教育には、カラフルな楽器や音符を色で表現した楽譜が用いられることがある。「色音符」や「色彩楽譜」と呼ばれ、音の聴覚イメージを視覚的なイメージとして把握することができる。これは、耳の不自由な方にも音楽を鑑賞していただく方法のひとつで

もある。カラフルな楽器や色音符に用いられる色と音の組み合わせには、どのような共通点があるのか、なぜその色が用いられるようになったのだろうか。

### 色彩楽器の歴史をみる

「光を出す楽器」について考えた人たちが居る。その中にレオナルド・ダ・ヴィンチの名前が見つかった。現在の調査の中では、レオナルド・ダ・ヴィンチと色彩楽器が関連する情報は見当たらないが、1725年にはフランスのイエズス会修道士で数学者、物理学者でもあったルイ・カステルが、60もの色ガラスを使った色彩楽器を作成していることがわかった。色彩楽器(ピアノ)を使用する楽曲として有名なのはアレクサンドル・スクリャービンの『プロメーアの詩』で《交響曲第5番》としてつくられたものである。しかし、初演では色彩楽器の故障で使用することはできなかったそうだ。英語



12色相環  
(画像作成:坪内香澄)

の文献しかないため時間を要するが、他に色彩楽器を作った人や、楽器の細かい仕組みについて調査したい。

## 共感覚

音を聞いたり、数字や文字を見たりすると色が思い浮かぶ感覚を「共感覚」と呼ぶ。研究発表会では、音を聞くと色が浮かぶ共感覚を扱う。作曲家のフランツ・リストや上記のスクリャーピンは、共感覚の持ち主として知られている。共感覚とは何か、共感覚を持つ人にはどのような世界が広がっているのかということに迫る。

## 色にちなんだ音楽

音楽の中には、色をタイトルに含む曲がある。まずはクラシック音楽の中に色の名前がついた曲は一体何曲あるのか、『クラシック音楽作品名辞典第3版』三省堂(2009年)を手掛かりに調査している。また、石若雅弥作曲《こころの色》や小田美樹作曲(信長貴富編曲)《群青》など、色をタイトルに含む合唱曲は多く、併せて調査を進めている。《こころの色》では、ハーモニーの移り変わりで白紙が色に染まっていく様子が描かれており、《群青》では、離れ離れになった友を思い、距離が遠くなくても群青色の同じ空の下にいることをユニゾンで語っている。クラシック音楽の他にも、J-popを中心に調査を進めたい。

## 諸外国と日本の色のイメージの比較

日本における色のイメージに強く影響を与えたのは「戦隊モノシリーズ」だといわれており、アイドルグループのメンバーカラーもその影響を受けて付けられたそう。しかし、諸外国において、このような文化の例はまだ見当たらない。文化が違えば色に対するイメージも異なり、音楽に対しても同じことがいえるのではないだ

ろうか。今後、文化による色のイメージの違いや色に対応する音のイメージを日本と諸外国と比較して調査したいと考えている。

## 芸能と色

歌舞伎のメイクである「隈取り」は役の性質によって色が異なる。赤い隈取りは正義の味方に用いられ、「藍隈」という青を使った隈取りは、公家悪と呼ばれる大悪人に用いられる。また、雅楽では、渡来系の舞をもとに発展した舞楽装束の色は、中国大陸系では赤系統、朝鮮半島系では緑系統を基調としているようだ。

## オペラの衣装

オペラの衣装には、作品成立当初から長い間伝統的に受け継がれてきたものや、現代演出が生み出した画期的なものなど、多種多様である。研究発表会では、役柄と衣装の関わりという観点からオペラの衣装、特に色について考察する。

## 音をアクセサリーに

音楽を聴き、色を思い浮かべてガラスに反映させたアクセサリーを造っているアーティストがいる。音楽を自ら奏で、音をガラスの色で表現し、様々なアクセサリーを作り続けている福村彩乃さんにインタビューする。

音楽と色の関係について、ふとした瞬間に感じることはあっても、真剣に考えることは少ないのではないだろうか。専門ゼミでは、これまでなぞってきたさまざまな観点から調査を進めている。最終的には、それらに何か繋がることはないか検討したい。

研究発表会では、音と色の関わりについて知り、それを感じていただけるように実演も交えながら発表する予定だ。

## ★研究発表会★

### Musicolor -音と色の祭典-

日時

12月10日(木) 18時開演

会場

国立音楽大学  
6号館110スタジオ

## ドイツ語の原詩を探す:リアル/バーチャル図書館往来 樋口 眞規子

2020年度、図書館は、新型コロナウイルスの感染拡大、緊急事態宣言を受けて4月1日から5月31日まで閉館しました。その後、「学内者のみ」という制限付きで6月1日から開館し現在に至りますが、来館利用者の数が多いとは言えない些か寂しい状況が続いています。レファレンス・カウンターでの調査も開店休業状態……、そんなわけで、今回は、数年前の事例をひとつご紹介することにします。

図書館には、過去のレファレンス調査事例を記録したB6より少し大きいサイズのカードがたくさんあります。それをパラパラめくっていたら、次のような事例が目にとまりました。

質問:メンデルスゾーンの歌曲(op. 88)の歌詞の綴りを確認したい。  
作者は、E. Geibel.

これだけ読めば「楽譜を見れば解決」と思うでしょう。国立音楽大学附属図書館では、実用譜は数種類(請求番号:F25-309等)所蔵しているし、Breitkopf & Härtelから出版された全集楽譜(旧全集、請求番号:A1-138)もあります。これらの歌詞を比較しても、違いは見当たりません。「本当は何を知りたいのか?」もう少しインタビューする必要があります。すると、その学生さんが知りたいのは、作詞者エマニュエル・ガイベル(Emanuel Geibel)の原詩と歌詞を比較したいということだったので。

結果としては、比較的簡単に、インターネット上の情報から原詩を確認することができました。

手順をおさらいしてみます(限られた字数なので、各サイトのURLは省略します)。

1)まず、メンデルスゾーンの「作品主題目録」で作品について確認しました。使用した資料は以下のとおりです。

Felix Mendelssohn-Bartholdy : Thematisch  
-systematisches Verzeichnis der musikalischen Werke (MWW)  
/ von Ralf Wehner(Wiesbaden : Breitkopf & Härtel , 2009)  
請求番号●X-044/M537/W(資料ID●J116398)

すると、op.88は6曲からなる混声重唱曲„Sechs vierstimmige Lieder für Sopran, Alt, Tenor und Bass“, E. Geibelの詩は第5曲„Deutschland“に用いられていることがわかりました。上記の作品目録では、6曲それぞれに作品番号が付され、„Deutschland“には「F33」という番号が与えられています。

2)念のため、当館所蔵楽譜で歌詞を確認します。どの楽譜にも歌詞の違いはありません。

3)次にGeibelの原詩を探します。残念ながら当館未所蔵でした。そんな時の強い味方がインターネット上の情報です。まず、Googleを用いてEmanuel Geibelについての概要を調べることになりました。すると、ドイツ語版のWikipediaに原詩についての情報が載っていました。該当のURLまでリンクされているの

でバイエルン国立図書館で公開している初版を簡単に見ることができます。しかし該当の詩が収録されている詩集のタイトルがわかりません。そこで、またGoogleに詩人の名と歌いだしを入力、すると„Juniuslieder“(1848)に収められた詩だということがわかりました。バイエルン国立図書館のデジタル・データに戻り、目次を辿ると目的の詩が見つかります。しかし、古い字体(ひげ文字)で書かれているため読むのに疲れます。

4)それならばと、インターネット上の電子図書館“Project Gutenberg”で、作者名と詩のタイトルを入力(または、Googleでgeibel juniuslieder project gutenberと入力)。あっという間に該当の詩に辿り着くことができました。

5)3)と4)で見つかった詩とメンデルスゾーンの楽譜の歌詞を比較します。歌いだしは一緒…しかし第1連の3行目で、早くも違いが見つかりました。

歌詞(タイトル: Deutschland)  
Durch tiefe Nacht ein Brausen zieht  
Und beugt die knospenden Reiser  
Es klingt im Wind ein altes Lied  
Das Lied vom deutschen Kaiser  
原詩(タイトル: Lied des Alten im Bart)  
Durch tiefe Nacht ein Brausen Zieht  
Und beugt die knospenden Reiser  
Im Winde klingt ein altes Lied  
Das Lied vom deutschen Kaiser

第2-4連にかけても、同じように違いが確認できました。

現在では電子図書館や歌曲・合唱曲のテキストを掲載するサイトが、調査時よりさらに増えています。ドイツ・リートについて調べていると、元の詩を確認するという作業も必要となることもあるでしょう。Geibelについての調査は、図書館まで出かけなくても、自宅で多くの収穫を得ることができることを実感した例でした。

\*3階のレファレンス・カウンターは、現在、閉鎖していますが、皆さんからの質問は、2階メイン・カウンターで受付けています。5月から実施しているメールやファックスによるレファレンス(調査受付)も引き続き利用できます。帰省中で図書館に来られない場合は、図書館のホームページの案内「オンライン授業期間のレファレンス(調査受付)」を参考に質問をお送りください。

ひぐち まきこ ● 就寝前の読書は子どもの頃からの習慣。

ウィリアム・トレヴァーの遺作『ラスト・ストーリーズ』(国書刊行会, 2020)。短編集なので、一編ずつ楽しみに読んでいます。

## 職人技の音楽～追悼エンニオ・モリコーネ～ 宮部 真砂子

2020年7月6日、映画音楽の巨匠エンニオ・モリコーネがこの世を去った。享年91歳。  
一生涯、クラシック作曲家としての矜持を持ち続けたモリコーネの足跡を振り返ってみたい。

### ポップスも、前衛音楽も

エンニオ・モリコーネの写真をみると、やや大きめのめがねフレームが特徴的な、誠実で折り目正しそうな印象を受ける。風貌に似合いの職業は大学教授か研究者といったところであろうか。

モリコーネは1928年11月10日ローマ生まれ。父親はジャズ・トランペッターだった。18歳で聖チェチリア音楽院のトランペット科を修了。同音楽院で、作曲指揮法及び合唱法を学び、20世紀イタリアの三大巨匠のひとりである恩師ゴーフレット・ペトラッシの指導のもと、25歳の時、作曲科を首席で卒業。

彼は音大在学中の50年頃からラジオ番組の仕事(編曲)のアルバイトを始め、55年に他の作曲家の助手として映画のための作曲と編曲を開始した。また57年にはテレビ向けの舞台音楽家としてデビューし、60年頃からTVバラエティ番組のアレンジャーとしても本格的に仕事を開始した。なお映画音楽の作曲家としてのデビューは61年『ファシスト(Il Federale)』とされている。

1960年代のイタリアでは、サンレモ音楽祭と対抗するかのようにカンタジエロ歌謡祭が始まり、イタリア全土をあげての現代歌謡ブームが訪れていた。モリコーネは舞台音楽を手がけるかたわら、ラジオ・テレビでジャンニ・モランディ、ジーノ・パオーリらの歌謡曲(カンツォーネ)のアレンジャー兼指揮者として500曲超ものレコーディングを行い、「THE FATHER OF MODERN ARRANGEMENT」と賞賛されたという。彼は、その並々なぬ才能とバイタリティーとで60年代のイタリア現代歌謡界に多大な功績を残した。今でこそ映画音楽の巨匠モリコーネだが、原点はこの当時のアレンジャーとしての活動にあったと言っても過言ではないだろう。

また彼は前衛音楽にも意欲的で、64年から80年にかけて、フランコ・エヴァングリスティ主宰の即興音楽演奏家集団「Nuova Consonanza(新しい調和)」にトランペット奏者として参加し、6枚のアルバムを発表している。ポップス・アレンジャーとして多忙を極めていたのと同時期の活動ぶりは、まさに超人的である。

### 運命的な出会い～映画音楽作曲家として

彼が映画音楽の作曲家としてデビューした直後に、セルジオ・レオーネ監督との出会いがあった。『荒野の用心棒』(64年)の製作である。この映画をきっかけに50年代末からの一連のマカロニ(スパゲッティ)・ウエスタンが大ブレイクした。レオーネ監督とは『荒野の用心棒』以来、『夕陽のガンマン』『続・夕陽のガンマン』『夕

陽のギャングたち』そして同監督の遺作となった『ワンス・ア・タイム・イン・アメリカ』まで続いた。同時にモリコーネ音楽も、その存在感を増していった。ふたりは小学校の同級生でもあったという。その後も、G・トルナトーレ監督やタランティーノ監督などの大ヒット作の音楽を担当し続け、現在の映画音楽作曲家としての名声を不動のものとした事は万人の知る所である。

日本との関連に目を向けてみると、1985年、日仏合作のテレビ・ドキュメンタリー『ルーヴル美術館』の音楽を担当、第77回芥川賞受賞(1977年)の池田満寿夫原作の映画『エーゲ海に捧ぐ』や2003年NHK大河ドラマ『武蔵MUSASHI』の音楽も担当した。

『武蔵MUSASHI』のチーフ・プロデューサーによれば「武蔵の一途で孤独な生き方はマカロニ・ウエスタンに登場するガンマンに通じるものがあるのではないかという考え方が出て、エンニオ・モリコーネの名が浮上した」との事である。



Ennio Morricone  
(Britannica\_Image\_Quest\_144\_1533884.jpg)

### 永遠のモリコーネ

モリコーネは、はじめは映画音楽の作曲家になろうとは思ってもしなかったそうである。彼は映画音楽作曲家として高い評価と地位を得た後も、自分が本来求める音楽を「絶対音楽」と称し、生涯、尊重しこだわり続けた。

『1900年』『ミッション』『アンタッチャブル』『ニュー・シネマ・パラダイス』『海の上のピアニスト』などの多種多様な作品により、アカデミー賞・イタリア共和国功労勲章・旭日小綬章ほか、様々な栄誉に輝くモリコーネ。映画と共に彼の音楽もまた永遠に色あせる事なく響き続けるのだろう。

#### 【参考資料】

- ・エンニオ・モリコーネ、自身を語る / エンニオ・モリコーネ、アントニオ・モンダ著 中山エツコ訳 河出書房新社 2013 請求番号●J128-094
- ・The Ennio Morricone Chronicles. RCA, 2000 請求番号●XD45668~677
- ・Yo-Yo Ma plays Ennio Morricone. Sony Classical, 2004 請求番号●XD54728

# 風景の中で ⑦



## デーケンさんの死生学

図書館長 井上 郷子

この夏、酷暑の故か、知人、友人を続けて亡くしました。20代で出会い、その後は昭和、平成、令和と、お互い別々の人生を歩み、ようやく尾根歩きを楽しめるようになるわね、また会いましょう、などと話していた矢先、彼らは突然姿を消してしまいました。

一般的に、少なくとも数年に一度は地震や水害などによって、死は身近なものとして感じられるようになるのですが、この半年間は、新型コロナウイルスによってもまた、同様であったことと思います。

9月6日には、カトリック司祭、哲学者のアルフォンス・デーケンさんが亡くなりました。1980年代から「死への準備をすることは、よりよく生きること」という言葉に象徴される、日本では聞き慣れなかった「死生学」を唱え、上智大学で「死の哲学」の授業を初めとして長い間教鞭を執られた方です。このころ、もしかしたら死生学のちょっとしたブームがあったのかもしれませんが、デーケンさんの言葉はしばしば聞かれるものでしたし、今は当たり前のように話される「quality of life と quantity of life」について深く考えさせられるほど、彼の思想は当時、新しかったのです。私はちょうど父を

亡くした頃で、彼の言葉にしばらく立ち止まるが多かったことを覚えています。

デーケンさんはまた、「死には4つの側面がある」と言い、日本語での「死」は、ほとんど肉体的な死を意味するが、それだけではない、生きる意欲を失う心理的な死、病を患ったときに寄り添う人がいない社会的な死、文学や音楽など心の潤いを感じる生活ができなくなる文化的な死、そして肉体的な死、という、死の4つの面を指摘しています。そうすると、このコロナ禍の中、芸術に携わる多くの人々が、世界的に沈没しそうな音楽や演劇などの営みを何とか死守しようとしていたのは、生きる上での必然だったように改めて感じます。SNSを通じてより社会に開いていった人もいれば、ひとりで自身に向き合い、黙々と自分の技量を磨き続けた人も多かったでしょう。

生きている限り、私たちには喪失体験が必ず付きまといまいます。切れ目なく続く日々の中で、一年に一度くらいは走ることを中断して、生きることと死ぬことについて考えるのもよいかもしれません。

『生と死の教育』 岩波書店 請求番号●J137-177

# 資料の部屋 ⑦



## 吹奏楽スタディスコア 新登場

図書館員 岡本 さやか

今回は、最近図書館で所蔵を始めた楽譜をご紹介します。

オーケストラ・吹奏楽など大編成の楽曲の楽譜はたくさんのパート譜があり、収納スペースや管理の面でも、授業・研究のためという利用目的の面でも、図書館資料に不向きなところがあるため、当館では収集対象になっていません。研究の際などはやはり楽譜を見たいものですが、演奏用のレンタル楽譜しかなく図書館で購入できないということもありますし、スコアのみでの出版が多いわけではないのも悩みの種です。

今年度収集を始めた、フォスターミュージック社のスタディスコアは、同社で取り扱っている楽曲から、スコアのみを縮刷版のスタディスコアとして出版しているシリーズです。解説や作曲家プロフィール、音源の情報などのページがあるのですが、委嘱について記載されている作品もあり、様々な団体からの委嘱により、コンクールや演奏会など様々な機会に作・編曲されたことが伺えます。

また、通常版のほかに小編成版など、異なったバージョンが出

版されている楽曲もあり、比較研究もできる点がいへん興味深いところですよ。小編成の吹奏楽について研究したい、教育実習などで指導の予定がある、編曲法を比較したい…など、さまざまなケースで活用できるのではないのでしょうか。

今後も引き続き収集予定ですので、日本の吹奏楽のシーンを垣間見ることができるかもしれません。

出版や流通が多様化する現在、研究したい作曲家・ジャンル・テーマなど、当館に資料がないということもあるかと思えます。そんなときは、「購入希望」という制度でリクエストを受け付けています。館内のポスターを参考に、カウンターに申し込んでください。



おかもと さやか ●

# 私のおすすめ

## 刻まれた生命記憶

図書

大学院音楽研究科修士課程 音楽教育学専攻 2年 武内 理恵

みなさんは、からだに刻まれた記憶が、何かのきっかけで、ふと思い出されるような経験はありますか。著者、三木成夫先生は、日々を通してからだに入り込んだ記憶、遠い祖先から受け継いだ記憶を「生命記憶」と呼んでいます。

三木先生は、専門が解剖学・生物学でありながら、保健・保育・教育、さらに、芸術・哲学・思想と多岐にわたる分野に貢献されました。この本は、わたしたちの生命記憶に関するさまざまな世界が、平明に書かれています。

味覚にまつわるエピソードには、椰子の味、玄米の味、母乳の味が出てきます。懐かしさにハッと、自分の祖先はポリネシアか…とつぶやいた椰子の味。副食の嗜好をまるで変えてしまった玄米の味。そして、突如、口にすることになった母乳は、味も匂いもない、からだの細胞に溶け込む感触だと表現します。

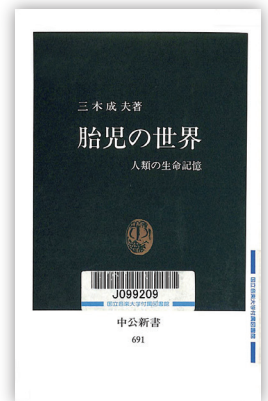
この本から少し離れますが、先生の著書から教わったことのひとつが、幼い子どもの“なめる”行為は、舌を通して、もののかたちを記憶しているということです。その感覚が知覚の基盤を固め、感受の記憶を呼び起こすことを知りました。

たけうち りえ ● 今朝、大学の門を入ると金木犀の甘い香りが立ち込めており、今年もそのような季節であることを思い出しました

さて、『胎児の世界』では、受胎32日目から一週間にわたる、胎児の顔の変身のさまが展開されます。それは、あたかも生物の進化の過程のように、魚、両生類、爬虫類、やがて哺乳類という動物のおもかげを漂わせています。このわずか数日間に、目、鼻、口、耳の感覚器官が形づくられますが、魚の時代の鰓孔は耳孔や周りを縁どる耳たぶに、一見、ひれのような手は五本の指へと変わっていきます。一億年をかけた、脊椎動物の海から陸への上陸を、胎児は一瞬のうちに身をもって再現するかのようです。そして、60日目の写真には、瞼を閉じ、手を顔に近づけて、眠る胎児の姿がありました。

先生の職場だった東京藝術大学での「保健」の集中講義、最終日に、胎児のスライドが映し出され、胎内で聞く母親の血流音がステレオから響きます。若い学生たちはどのような思いでこの音を聞いたのでしょうか。

誰もが、からだどころに持つ「生命記憶」に思いを馳せてみませんか。



『胎児の世界：人類の生命記憶』  
三木成夫 中央公論新社 2002  
(中公新書) 請求番号●J99-209

## オイディプス王～悲劇の余韻～

図書

演奏・創作学科鍵盤楽器専修(ピアノ)4年 北原 義嗣

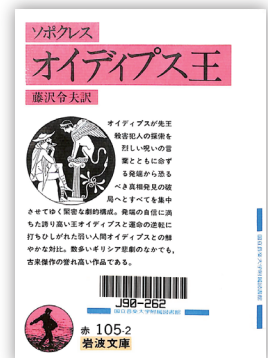
幼い頃から神話に興味を持っていた私にとって、ギリシャ神話の世界観にも関心を持つことは自然なことだったのかもしれない。当時、ハリウッドがギリシャ神話を題材にした映画を多く制作していたことももちろん影響しているが、はじめは単純に、登場する英雄と魔物・怪物との闘い、神々が繰り広げる物語が好きだったのだと思う。オリュンポス十二神を中心に読んでいた私が、大学に入学後、少し大げさだが、神話だけでなく古代ギリシアで生まれた概念そのもの、またその概念と自分の専攻である西洋音楽との関連性について考え始めていた。そのようなとき出遭った本が今回紹介する『オイディプス王』である。ギリシャ悲劇の最高傑作と謳われるこの作品は、悲劇作品ならではの筋立ての驚き、同時に知的な刺激に溢れ、紀元前427年から今なお世界中の人々に読み継がれている。

作品の主人公はオイディプス。舞台は古代ギリシアにあった都市国家の一つであるテバイ。テバイはスフィンクスという怪物による危難に悩まされる日々を送っていた。そこへ放浪の旅をしていたオイディプスがやって来るなり、見事スフィンクスに打ち勝ち、テバイの国を救うことに成功する。英雄と称されるようになった

オイディプスは、殺害されたため不在であったテバイの王位につき、先王の妃イオカステを妻とした。彼らの間には四人の子女が生まれ、平和な日々を送るようになる。しかし、テバイの国には、再び大きな災難がもたらされた。疫病の広がり不作である。これらにより、かつての心穏やかなテバイの日々は失われてしまう。王としての責務を果たすため、オイディプスは神託を授かることになるが、その神託によって、疫病と不作が、テバイ国の亡き先王の殺害に関与していることが判明する。亡き先王を殺害した者がテバイにいる限り、この災難は終わらないとのことだ。これを聞いたオイディプスは殺害者を必死に探すことになるが…

英雄と称され、一国を支配したオイディプス、その生涯の最後を描いたこの作品は、人間にとっての「運命」について考えさせてくれる。人の人生は運命に定められているのか？運命を淡々と受け入れて生きていくことが最善なのか？運命は変更不能なのか？運命を超えて人生を切り拓くことが出来るのか？様々な問いが余韻となって心に残る作品である。

『オイディプス王』ソポクレス著 藤沢令夫訳  
岩波書店1999 (岩波文庫) 請求番号●J90-262



きたはら よしつぐ ● 新型コロナウイルスの流行により私の日常生活も大きく変化しました。

本番が少なくなった今、文学などの異分野の芸術に意欲的に触れ、自身の感性を少しでも育てたいと思っています。

## 『竹内道敬文庫の世界』公開

2020年11月6日、当館ホームページで、『竹内道敬文庫の世界』を公開することになりました。

当館には、竹内道敬文庫という近世日本音楽に関する貴重資料があります。これは、本学元教授 竹内道敬先生の所蔵されていた資料から、三味線音楽に関する、錦絵、正本、番付など1万点を超す膨大なコレクションをご寄贈頂いたものです。2019年3月に「錦絵」のみ『竹内道敬文庫デジタル・アーカイブ - 錦絵の部 -』として、データベースを公開しました。その錦絵の内『国立音楽大学創立90周年記念事業 竹内道敬文庫錦絵図録』(2017刊)に収録したものを、章ごとにご覧いただけるページ『Aオンライン展示』を作成しました。日本音楽を研究する一つの手掛かりとしてご利用ください。インター

ネットさえ繋がれば、どこからでも、いつでも利用できます。

この『竹内道敬文庫の世界』は、共同研究を進めてきました立命館大学アート・リサーチセンター

が開発したシステムによって構築されています。『Dデータベース』部分に、今回約5,000点の番付を追加して公開します。今後も正本などを、順次公開していく予定です。



## Information

### 冬休み貸出

冬休み貸出が12月1日(火)から始まります。返却日は1月21日(木)になります。楽譜や本、CDなどを長く借りられますのでご利用ください。

### 「新潮文庫の100冊」2020を追加

今年の「新潮文庫の100冊」の中から、昨年度までに購入していないものを追加します。場所はスタディールームで、貸出期間は2週間です。ぜひご利用ください。

### 5分間ガイダンス

休み時間を利用して5分間でOPAC検索方法などのワンポイントレッスンや、書庫ツアーを体験することができます。1人から申し込み可能です。現在は密を避けるかたちで、少人数で実施しています。お申込みは図書館2Fメインカウンターまで。

### 感染防止対策ご協力をお願い

図書館来館の際は、マスクの着用と手指の消毒をお願いします。館内の座席は間隔を空けて設置しています。1人で静かにご利用をお願いします。各種請求票・申込書はカウンターでお渡ししています。必要なときはカウンターにお声がけください。

## 図書館活動報告

### <展示>

『Welcome to our CAMPUS』 8月20日(木)～10月1日(木)@エントランス

2011年に完成した新1号館と、2019年4月にオープンした7号館2階のカフェには、古い楽譜をモチーフにしたパネルがあります。モチーフとなっている楽譜は、図書館が所蔵する貴重楽譜です。普段は保存庫に保管されている貴重楽譜のうちいくつかをセレクトして展示しました。

『フルクサス展示～聴き伝わるもの、聴き伝えるもの関連企画』 10月2日(金)～10月31日(土)@エントランス

大学主催演奏会『聴き伝わるもの、聴き伝えるもの - 20世紀音楽から未来に向けて -』第15回「ニューヨーク、現代音楽の極北」で取り上げられた「フルクサス」について関連資料を展示しました。

### <ガイダンス>

9月15日(火) 宮澤淳一先生クラスガイダンス (音楽情報を集めるII)

10月27日(火) 宮澤淳一先生クラスガイダンス (音楽情報を集めるII)

- 表紙：原怜那 武蔵野美術大学造形学部デザイン情報学科3年
- 発行：国立音楽大学附属図書館
- 編集担当：高橋京子・宮部真砂子

- 国立音楽大学附属図書館
- https://www.lib.kunitachi.ac.jp
- E-mail info\_lib@kunitachi.ac.jp